

2024年3月期 3Q決算ダイジェスト

2024年3月期 第3四半期 経営成績

	2023年3月期3Q(前期)		2024年3月期3Q(当期)			
	実績	構成比	計画	実績	構成比	前年同期比
売上高	659億 19百万円	-	689億 29百万円	686億 51百万円	-	+4.1%
売上総利益	206億 16百万円	31.3%	215億 16百万円	212億 42百万円	30.9%	+3.0%
販管費及び 一般管理費	123億 76百万円	18.8%	140億 90百万円	137億 8百万円	20.0%	+10.8%
営業利益	82億 39百万円	12.5%	74億 25百万円	75億 33百万円	11.0%	▲8.6%
経常利益	84億 15百万円	12.8%	76億 97百万円	78億 71百万円	11.5%	▲6.5%
四半期純利益	58億 29百万円	8.8%	52億 97百万円	54億 22百万円	7.9%	▲7.0%

※()前年同期比

売 上 高	686億 51百万円	(+4.1%	+27.3億円)
I. 部門別			
(1)ラボ・インダストリー部門	561億 83百万円	(+8.5%	+43.9億円)
①ラボラトリー	420億 31百万円	(+9.2%	+35.2億円)
②インダストリー	141億 52百万円	(+6.5%	+8.6億円)
(2)メディカル部門	120億 51百万円	(▲12.0%	▲16.4億円)
(3)その他 (T21手数料)	4億 16百万円	(▲4.3%	▲0.2億円)
II. 中計主要売上成長施策			
(1)eコマース	199億 80百万円	(+15.4%	+26.7億円)
①集中購買	94億 88百万円	(+13.3%	+11.1億円)
②Wave	9億 35百万円	(+85.3%	+4.3億円)
③AXEL	15億 50百万円	(+4.9%	+0.7億円)
④ネット通販	80億 5百万円	(+15.2%	+10.6億円)
(2)海外事業	37億 55百万円	(+1.3%	+0.5億円)
①中国	24億 3百万円	(▲1.5%	▲0.4億円)
②その他	13億 51百万円	(+6.7%	+0.8億円)

売上総利益	212 億 42 百万円	(+30.9%	※()前年同期比 +6.3 億円)
	売上総利益率	30.9 %	(▲0.3 p)

主な要因

- ・調達コストの上昇と並行して機動的なプライシングを実施している。
- ・一方メディカル部門においてコロナ禍の反動に伴い市況が低迷していることから、粗利率が若干低下。

販売費及び一般管理費	137 億 8 百万円	(+10.8%	+13.3 億円)
-------------------	-------------	----------	------------

主な増減

(1) 運賃及び倉庫作業料	34 億 80 百万円	(0.0%	▲0.0 億円)
(2) 人件費	47 億 12 百万円	(+8.4%	+3.7 億円)
(3) 不動産賃借料	15 億 0 百万円	(+54.1%	+5.3 億円)
(4) 減価償却費	6 億 66 百万円	(+5.9%	+0.4 億円)

主な要因

- ・7月より連結対象会社が増え、6カ月で2.3億円加算。
- ・不動産賃借料は、新物流拠点阪神DCの開設（4月より）による増加。
- ・運賃及び倉庫作業料は売上増にも関わらず、微減となった。運賃は多様な配送方法を取り入れ、コストダウンを実施、倉庫作業料は最新設備の既設の物流拠点Smart DCの作業効率が上がってきたもの。

補足

①売上高：14年連続増収、13年連続過去最高更新

②中計施策

計画比では、EC▲1.9%、海外事業▲4.5% 合計▲2.3%

以上